

# 須木中だより

第18号 平成31年3月6日発行

## 啓蟄

3月6日は「啓蟄(けいちつ)」。  
二十四節気の一つで、『春の陽気を感じ、地  
中で冬ごもりをしていた虫が動き出し、はい  
出してくる』と意味があります。

いよいよ旅立ちの季節です。

4月に1年生を迎えた入学式  
から、もうすぐ1年が経ち、卒  
業式の季節がやってきました。  
一年間、子どもたちは一步一步  
着実に成長してきたと感じてい  
ます。



## 「卒業」それは、新たなステージの「始まり」

さて、今年度は12名の3年生がたくさ  
んの思い出を心に刻み、須木中を巣立ちます。

3年生のみなさん、16日(土)の卒業式  
では、自信と誇りをもって、成長した自分を  
輝かせる最高の日にしてください。そして、  
これまでお世話になった方々への感謝の気持  
ちをしっかりと伝えてください。

1、2年生のみなさん、卒業式では3年生  
から託される思いをしっかりと受け止め、3  
年生の門出にふさわしい最高の舞台にして  
ください。そして、これまでお世話になった先  
輩に感謝の気持ちを伝えてください。

3月16日。全員の力で素晴らしい日にな  
ることを願います。

3年生の保護者のみなさまには、これまで  
中学校生活3年間、子どもさんを温かく励ま  
され、また、本校の教育活動に対してもご支  
援をいただき心から感謝しております。あり  
がとうございました。

## 家庭教育学級、お疲れ様でした

第7回研修講座及び閉級式が、2月21日  
(木)に開催されました。最終回となる今回  
の講師は、今月末でご退職される須木小学校  
の小林雅彦校長先生。常に前向きな気持ちで  
子どもたちの教育に携わってこられたことが  
伝わるお話でした。また、閉級式では今回で  
義務教育での子育てを終えられる方々に修了  
証が贈られました。

一年間、運営に努力された学級長の水谷麻  
美さん、副学級長の片地亜理沙さん、さらに  
主事として支えてこられた小学校の矢野教頭  
先生、中学校の中窪教頭先生、ありがとうござ  
いました。



## 「厄払い寄付金」に感謝

1月31日(木)に、平成6年3月卒業生  
同窓会(代表者 八重尾克哉様)の皆様方よ  
り、厄払い記念として寄付金をいただきました。

この日、八重尾克哉様と海老原美穂様のお  
二人が代表で来校され、贈呈式を行わせても  
らいました。また、校長室にある当時のアル  
バムをご覧になり、たいへんなつかしく感じ  
てらっしゃいました。

寄付金につきましては、本校の教育活動及  
び施設の充実等に役立てたいと思います。

ありがとうございました。



## 3年生に「しおり」をいただきました



2月18日に小林地  
区更生保護女性会の伊  
藤美智子様と桑原エイ  
子様が来校され、3年  
生へ卒業記念として「し  
おり」を贈呈してい  
ただきました。毎年、あ  
たたかいご支援に感謝  
しております。ありが  
とうございました。

2月13日(水)に小中合同「立志式」  
を開催しました。小学5年生、中学2年  
生全員がりっぱにこれからの抱負を述  
べてくれました。4月からは、それぞれの  
学校の最高学年としてさらに頑張っ  
てくれることと思います。

記念講演では、小林市食と農の魅力創  
生シェフ地井 潤様のお話と試食を体験  
することができました。ご参加いただき  
ました保護者、地域のみなさま、あり  
がとうございました。

須木小・須木中合同立志式



## サイネリアが順調

に育ってきています。  
用務員の間先生が夏  
に種をまき、丁寧に育  
ててこられています。

約50鉢の花が卒業式  
の会場を華やかに盛り上げてくれることと思  
います。ありがとうございます。

